

二年学年便り

平成30年10月1日(月)
第7号
尼崎市立小田北中学校
(電話 06-6499-0005)

トライやる・ウィーク 9月10日(月)～14日(金)

2年生の大きな行事のひとつである「トライやる・ウィーク」が、無事終わりました。今年度のトライやる・ウィークは台風や大雨にたたられ、ちゃんと始めることができるのかどうかと冷や冷やしましたが、なんとか1日遅れで始めることができました。

トライやる・ウィーク期間中は、それぞれの事業所でみんなよくがんばり、ふだんは見られないような姿も見ることができました。みんなの感想文を見ても、ふだんできない経験ができ、とても有意義であったことがうかがえます。

無事、トライやる・ウィークを終えることができたのも何よりです。特に大きな怪我や問題もなく終えることができたのは、当たり前のように思えるかも知れませんが、とても大事なことだと思っています。すべての事業所から「来年度も是非受け入れたい」や「依頼があれば受け入れたい」と返事を頂いています。期間中、生徒たちをお世話いただいた事業所の方々や、支えてくださった家族のみなさんにお礼を申し上げます。

(裏面に生徒の感想文を掲載しています。ご覧ください。)

トライやる・ウィークの写真のコーナー



10月の予定

中間テスト

来週は中間テストです。しっかりと準備をして、万全の態勢でテストに臨めるようにしてください。もちろん、提出物も完璧に仕上げ、きちんと期限を守って提出すること。

	1校時	2校時	3校時	4校時
9日(火)	英語テ	社会テ	国語テ	
10日(水)	理科テ	数学テ	芸術鑑賞	



芸術鑑賞

中間テストの2日目の3～4校時には、芸術鑑賞を行います。昨年度はピッコロシアターで、あの「空中ブランコ乗りのキキ」で有名な別役実作「赤ずきんちゃんの森のクリスマス」を鑑賞しましたが、今年度は学校の体育館で劇団め組による「杜子春」を鑑賞します。

合唱練習開始

11日(木)から総合文化発表会の合唱練習が始まります。今年度は、2年目となるので、昨年度以上の合唱を披露してくれることを期待しています。また、練習の仕方も、自分達で工夫をして、より充実した練習になるように互いに声をかけ合いながら、協力して練習してほしいと思います。

合唱コンクール 25日(木) 2年生は3校時(10:50～11:40)

総合文化発表会 26日(金)



「トライやる・ウィーク」の感想文紹介

「トライやる・ウィーク」あけの9月18日(火)の3校時に、体育館で事後学習を行いました。その場で、発表してもらった生徒の感想文を紹介します。

2年1組 中村 優 「たくさん学んだトライやる・ウィーク」

この2学期が始まって、2年生はトライやる・ウィークがありました。私は、はまようちえんに行かせていただきました。

初めの方はすごく緊張しました。でも、事業所の先生方が優しく丁寧に教えてくれたのですごく助かりました。1日目は子ども達にどうやって話しかけたらいいのかなどが全然わからなかったけど、2日目、3日目とどんどん話しかけてくれる子がふえて自分もうれしかったです。私がこの4日間見てて思ったことがあります。それは毎日笑顔であいさつしている事です。笑顔であいさつされると自分も笑顔であいさつしたくなるなと思いました。先生方はしっかり朝職員室で話し合いをして予定を細かく決めたりもしていました。私がこの仕事をしていて難しかった事は、一度にたくさんの子達が話してくれるから一人ずつ話を聞いてあげるのが難しかったです。そんな中先生方は一人一人の意見をしっかりと聞いてあげてどうするかを決める話し合いもありすごいなと思いました。

この4日間で学んだ事はたくさんあります。ふだんでは絶対できないような体験もたくさんできたので何かあたらしい事ができてよかったです。子ども達のことを考え優しく笑顔で接するすてきなところも見られました。この4日間で学んだ事を今後にも生かしてがんばっていきたいと思いました。

笑顔は周りを笑顔にできるんですね。笑顔の大切さを率先して中学校で広めていって、みんなをどんどん笑顔にしていってほしいと思います。

2年2組 山上 和真 「トライやる・ウィーク ~未来への第一歩~」

今年も暑かった夏が終わろうとし、先週にトライやる・ウィークが行われました。1日目が始まる前は、不安な気持ちと、楽しい気持ちがありました。しかし、1日目は大雨で休みになってしまいました。この時は少し残念でした。2日目はようやくトライやる・ウィークが始まりました。伺った場所は尼崎市立下坂部小学校です。朝会での自己紹介は、正直すごく緊張しましたが、しっかり自己紹介ができて良かったです。3日目はペンキ塗りの予定でしたが、雨のせいで授業見学になりました。授業を見学したのは5年2組です。そのクラスの国語の授業を見ていたらみんな自分から発言していました。ぼくも見習いたいと思います。4日目は無事朝礼台のペンキ塗りが行われました。ペンキ塗りは最初にやすりをかけて傷を入れ、その隙間に、ペンキを塗っていきます。大きな朝礼台にやすりをかけるのはすごく苦労しましたが良かったです。ペンキ塗りは奥から手前へと丁寧に塗るのですが、この作業が今回のトライやる・ウィークで一番良かったです。最終日の5日目は前日にペンキ塗りが終わったので、再び授業見学となりました。ぼくは4年1組の体育の授業に行きました。ですがみんな運動神経が良くて、全然ついて行けませんでした。学校の先生が毎日こんなことをしているのだと思うと、すごいなと思います。

このトライやる・ウィークでは、あいさつと、人への態度と、笑顔の大切さを知りました。そして学校の教師の仕事にやりがいを感じ、教師になりたいとも思いました。そう、このトライやる・ウィークでぼくは未来への第一歩を踏み出したのです。

このトライやる・ウィークが、将来の夢に向けての出発点になったようですね。数年後に山上君が教育実習にやってくるのを楽しみに待っています。(でも、小学校の先生になるんだったら、小田北中には教育実習に来ないか・・・)

2年3組 前田 妃音 「トライやる・ウィークを通して」

私は、先週のトライやる・ウィークで、いろいろなことを感じられました。

トライやる・ウィークを通して、学んだことは、幼稚園だったら、子ども達が帰った後にいろいろと物を作ったり、教室や廊下、遊戯室などの掃除をしたり、明日のための準備を早くしていったり、運動会などの行事のことをいっぱい話し合ったりして、それを行動に移していっぱい動いたりして、子ども達のことを考えて、子ども達がいる時間は、めいっぱい遊んだり、怒ったり、歌ったりして、子ども達が帰った後には、いろんな子どものための仕事も、保護者のための仕事も自分自身の仕事も全てを、自分達が見ていないところで、やってくれていることを学びました。

私は、4日間の中で印象に残っていることや楽しかったことは、先生達が子ども達に頭を使わせて考えて発言させる所です。例えば、しっぽ取りをして、そのしっぽを取られないから、手で押さえて隠したり、壁にひっつけて、取られないようにしていた子がいて、他の子が「そんなことしたら楽しくなくなるからアカンで」というと先生は、「なんでそれをしてはいけないの」とみんなに聞き、もう一度話し合っただけでルールを決めたりしていた所は印象に残りました。

楽しかった事は小さい子ども達と色々な遊びをして、いっぱい笑ったり、外で、竹馬の練習をして、できない子を手伝って教えてあげて、できるようになった子がふえたりして楽しかったです。

私たちがいつも学校にいる時間も、部活をしている時も、家にいるときも習い事をしていても、全て先生や保護者の方や周りの人の支えがあるからこそ、ふだんの生活ができていくことが改めて、わかってもっとももっとその分頑張らないといけないと思いました。

トライやる・ウィークの4日間で、子ども達のためにはたらき、そのことを通して、自分も誰かに支えられて生活していることに気づけたことは、素晴らしいと思います。この気持ちを大切に、今後も頑張ってください。

2年4組 小松 宙生 「トライやる・ウィークを終えて」

4日間のトライやる・ウィークはこれからの自分に対しての良い刺激になりました。自分は仕事に関しては全く興味がなく、何が良くて何がおもしろくて何故やるのかがわからなかったけど4日間のトライやる・ウィークでその意味が少しわかった気がします。仕事は楽しくやるものであり楽しいと思うことが一番大切なんだと学びました。4日間のトライやる・ウィークはただそんな事だけを学んだのではなく、トライやる・ウィーク期間でやっていた掃除などではどこをどのように拭いたり、洗ったりするのかなど、接客では人との関わり方など私生活やこれからの自分にとっても役立つことを学びました。トライやる・ウィーク期間では何百枚もあるチラシをひたすら切り、そして折ってずっと作っていました。その他では書類にハンコを押したり、シュレッダーをしたりともしんどい仕事をしていました。でも、このような固い仕事をしていると毎日このような仕事をしている事業所の方のすごさが改めてわかりました。また、チラシを作り終えた後の達成感や嬉しさもたくさん感じる事ができました。この達成感や嬉しさが仕事の楽しさ、おもしろさだと実感しました。でも、固い仕事だけではなく、仕事が終わった後にテニスをやらせていただいて楽しい気分を味わわせてもらいました。事業所の方も優しい人で仕事も楽しくでき、おまけにテニスまでさせてもらって最高の4日間でした。

トライやる・ウィークの4日間で、仕事のたいへんさとやりがいを学ぶことができ、とても有意義な経験ができましたね。しんどい仕事をどこかで誰かがしてくれていることに気づいたことも、大きな意味のある気づきだったと思います。